

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第3回足助警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年12月24日（火） 午前9時55分から午前11時40分までの間 ----- 足助警察署講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;">安藤 信之 会長      鳥居 千穂 会長代理 高橋善の進 委員      鈴木 春美 委員 佐藤 一道 委員      木浦 幸加 委員</p> <p style="text-align: right;">以上6名（定数6名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;">家田 署長                      塩出 副署長 安藤 会計課長              梶川 生活安全課長 後藤 刑事課長              中村 交通課長 濱田 地域課長              警備課長 警務課長代理</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="text-align: center;">なし</p>
諮 問 事 項 等	今年を振り返り、来年の足助警察署に望むこと
答 申 等 の 概 要	<p>社会通念を鑑み、人としての在り方、道徳教育の推進 地域住民と足助警察署の警察官とのより深い関係づくり 一人暮らしの方が増えてきているので、住民の孤独防止 の取り組み 巡回連絡の強化 野荒らし等の発生に対する犯罪抑止対策 秋の行楽期における渋滞緩和対策の継続実施 様々な広報活動の強化</p>
そ の 他	次回開催予定 令和7年2月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	署長挨拶
2	会長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申事項に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	優秀な人材確保方策について
	(2) 答申事項
	ア 警察に対する住民感情（抵抗感）の払拭方策
	イ なぜ警察官を志望したのかを中学生・高校生に伝える
	ウ SNSを使った魅力発信
	エ 警察の業務を体験できる機会の提供
	オ 時代の変化を鑑み、中途採用の促進
	(3) 推進施策（住民サービス係長説明）
	ア 各種イベント等の機会を活用して、市民が親しみを抱くような交通安全や防犯、防災講話、警察業務の説明に努めた。また、受付やイベント会場に当署員が作成した紙製パトカー等を置くなど、抵抗感の払拭に努めた。
	イ 受験適齢期の者に対して、巡回連絡時や警察署主催の柔道教室の機会に採用活動を行い、また一次試験合格者に対して、業務説明会時に現職警察官の体験談を伝えるなどの辞退防止活動を行った。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ウ	管内で行われたイベント情報を事前にXを利用して広報した。また、Xで発信しきれない内容は、県警察ホームページに掲載し、魅力を発信した。
エ	各種イベントの際、来場者に、警察官が職務で使う装備品の一部を説明を交えながら、見せたり、触ってもらったりする機会を作った。
オ	当署員に対して、知人への声掛けを依頼したところ、昨年悔しくも不合格となった2名が再受験した。引き続き、中途採用希望者や再受験希望者に対して声掛けを実施していく。
5 諮問（事務局説明）	
(1) 諮問事項	
今年を振り返り、来年の足助警察署に望むこと	
(2) 諮問事項の設定理由	
今年の足助警察署における交通死亡事故の発生は現時点なく、交通事故発生件数は、昨年並み、犯罪認知件数は、昨年の半数程度で推移している。	
しかし、県内の交通事故情勢は、厳しく交通死亡事故死者数は120名を超えている。	
また、犯罪発生情勢については、特にインターネットを利用した詐欺が、依然として猛威を振るい、特にSNSを使用した非対面型の投資詐欺やロマンス詐欺の発生は激増している。	
さらに、関東圏を中心とした闇バイトによる強盗の発生や太陽光発電施設内における銅線の大量窃取等の発生は、インターネットを利用した詐欺と同様に、住民の関心は高く、また、これら組織性を疑う犯行は治安上の	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
課題となっている。	
よって、このような現状を踏まえ、警察の責務である治安維持を果たすため、新たな年を迎えるに当たり、広く一般の方が考え、警察に望む活動を取り入れ、地域住民と一緒に施策を進めるため、諮問事項として設定した。	
6 協議	
委員	・ 治安維持というと防災、防犯、交通安全、その他に分かれると思う。その上で、各地域で住んでいて、感じることをお話しいただきたい。
委員	・ 警察の活動は、全てが結果を見て、対策を考えなければならない。 ・ 住民の関心が高い犯罪を抑止するため、特に闇バイトへの応募の防止に向けた住民への道徳教育、交通事故防止のためのペースカー走行、一人暮らしの方が多いため、住民の孤立防止につながる巡回連絡の3点を実施及び継続していただき、地域の実情をしっかりと把握した上で、対策を行ってほしい。
委員	・ 駐在所員と気楽に話ができる関係づくりを大切にしていきたい。 ・ 地域の様々な情報を警察と共有したい。 ・ 駐在所員と気楽に接する機会があると住民は安心し、孤立化も防げる。 ・ 一般的に、顔が分かっている人に会う方が、顔の分からない人に出会うよりも安心感がある。引き続き、駐在所員の顔写真をミニ広報紙に掲載してほしい。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矛盾する話であるのを承知の上で、駐在所員には巡回をしてほしいし、相談に訪問した際は、駐在所にいてほしい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畑の作物や山菜の盗難被害を見聞きする。 野荒らし等に対する犯罪抑止と実際に犯罪を見聞きした際の警察との速やかな連絡体制を作りたい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間に何かあったらと考えると不安が募る住民は多い。 ・ 夜間の緊急時の迅速な対応体制の構築は、住民の安心感の向上につながる。 ・ 二輪車の交通事故が多発しており、その多くは、足助警察署管内以外の居住者であると聞いた。管内以外の方は、管内の交通事故情勢を良く知らない。そこで、広報紙の特大版をコンビニエンスストア等の方がよく立ち寄る場所に掲示すると広報効果はもっと上がると思う。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋の行楽シーズンの渋滞緩和をもっと進めてほしい。 ・ 秋の香嵐渓の渋滞緩和に尽力していただいている点は、理解し、感謝している。しかし、まだ渋滞は発生し、渋滞に起因する交通事故が発生している。引き続き、対策をお願いしたい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋の行楽シーズンにおいては、今年は稲武支所管内の大井平公園周辺も渋滞していたことから、各地区の支所や観光協会への指導も引き続きお願いしたい。</li> </ul>		
7 答申			
(1) 社会通念を鑑み、人としての在り方、道德教育の推進			
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

